

市の人口	
(平成6年1月1日現在)	
世帯数	62,151世帯 (前月比64世帯増)
人口	182,645人 (前月比127人増)
男	90,218人
女	92,427人

宇治市政だより

1/21
平成6年
(1994年)
第1014号

発行 京都府宇治市
〒611 京都府宇治市
宇治路33番地
☎ (0774) 22-3141
編集 広報課
●毎月1日・11日・21日発行

平成5年中 火災・救急統計まとまる

火災・救急出動ともに増える



市消防本部では、平成五年の火災・救急統計をまとめました。それによると、火災原因の一位・二位が「放火の疑い」と「放火」です。また、救急出動では高齢者の急病が目立っています。皆さんもこの統計を参考に、火災の予防や救急車の正しい利用などについて考えてみてください。詳しくは各消防(分)署へお問い合わせ。

放火が火災原因のトップに

火災統計から

宇治市における火災の傾向としては、「放火の疑い」と「放火」が原因の第一位・二位であること、一般家庭から大部分の火災が発生していることが挙げられます。

「放火の疑い」や「放火」が原因である火災の多くは、不特定の対象・時間・発生しており、都市型の火災といえます。

マンションなどが増え、死角となりやすい物件、階段・ごみ箱・駐車場で増えたことがその大きな原因でしょう。建物周囲には紙

宇治市消防本部では、火災からまもろう、みんなの文化財をスローガンに、二十三日から二十九日の間、文化財防火運動を積極的に行っています。

文化財を火災から守るため、一人ひとりが火の取り扱いに注意しましょう。特に、文化財の付近ではたき火やたきごとの火気を使用しないように心がけてください。

宇治市には平等院鳳凰堂や、国宝の十二面観音の大仏が、市民の財産である。宇治市には平等院鳳凰堂や、国宝の十二面観音の大仏が、市民の財産である。

宇治市には平等院鳳凰堂や、国宝の十二面観音の大仏が、市民の財産である。宇治市には平等院鳳凰堂や、国宝の十二面観音の大仏が、市民の財産である。

宇治市には平等院鳳凰堂や、国宝の十二面観音の大仏が、市民の財産である。宇治市には平等院鳳凰堂や、国宝の十二面観音の大仏が、市民の財産である。

宇治市には平等院鳳凰堂や、国宝の十二面観音の大仏が、市民の財産である。宇治市には平等院鳳凰堂や、国宝の十二面観音の大仏が、市民の財産である。

●平成5年の火災発生状況

() 内は前年の数字

【出火件数(件)】	35(31)
【死者(人)】	0(2)
【負傷者(人)】	3(5)
【種別(件)】	1.建物 27(22)
	2.車両 4(4)
	その他 4(4)
【原因(件)】	1.放火の疑い 7(5)
	2.放火 4(4)
	ごみ 4(3)

●平成5年の救急出動状況

() 内は前年の数字

【出動件数(件)】	3,668(3,687)
【種別(件)】	1.急病 1,797(1,736)
	2.交通事故 1,046(1,115)
	3.一般負傷 453(441)
【搬送人員(人)】	3,623(3,663)
【不搬送(件)】	238(248)

●平成5年の救助出動状況

() 内は前年の数字

【出動件数(件)】	45(33)
【種別(件)】	1.交通事故 27(22)
	2.水難 8(3)
【救出人員(人)】	33(16)

救急・救助統計から

救急車は本当に必要なのか、必要なら何のために必要なのか、これは昨年の救急車の出動件数は三千六百八十八件、一日平均で約十・〇件出動した。このうち多くは、

運ばれた人のうち六十五歳以上の高齢者は九百四十五人で、全体の二六パーセント。特に急病で運ばれた人のうち高齢者は六百六十八人で三八・一パーセントを占めており、今後ますます高齢者の救急需要は増加すると思われる。

加すると思われる。しかし、昨年運ばれた人のうち半数以上が軽傷者で、出動要請があったものの運ぶ必要のないケースも三十八件ありました。救急車の台数には限りがあります。本当に必要な時に必要な人が利用できるような仕組みが必要ではないでしょうか。タクシーやマイカーで運べる程度であれば利用しないようお願いします。

一昨年の救助出動は四十五件、一昨年の十二件増えました。このうち、活動件数は十二件でした。交通事故が全体の六十六パーセントを占めていました。

市民代表推薦人募集

推薦の対象となる作品は、平成五年(一九九三年)四月一日から十二月三十一日までの期間に刊行された女性作家による文学作品です。推薦期間は、六月一日から十八日まで。おたんの読書の成果を生かし、皆さんの意見を文学賞に反映させる機会です。ぜひ応募を。

募集要項
◎定員：10人(応募多数の場合は抽選)
◎対象：市内に在住・在勤・在学する16歳以上の市民
◎応募方法：官製はがき
◎応募期限：六月十八日(日)まで(必着)
◎その他：市民代表推薦人として候補作品を推薦していただいた方には、記念品を差し上げます。
◎問い合わせ：文化観光課文化係(0774-223141) 月曜～金曜 午前9時～午後5時



◆この宇治市政だよりは、再生紙を使っています。限りある資源を大切に◆

何でも出してもらっては困ります

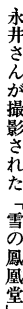
302

303

宇治野神 永井博さん(七四)

宇治といへば、私はやはり「宇治川と平等院」だと、宇治に移り住んで数十年思ひます。歴史に深く関心あちこちを歩きました。

レンズを通してみる宇治はいろいろな姿を見せてくれました。四季折々に移りかわる宇治のすばらしさはこの地にくらしているからこそみつけられるものだと思います。そして、いまもなお平等院に魅せられてい



げめぐります。
 いっときに撮つた十数枚の中から自分の気持ちとあつた一枚に出会つたとき、寒さにまかせ撮影に出てよかつた満足します。

宇治は、まだまだ、私を夢中にさせてくれる自然と史蹟を持っています。

加藤 房枝さん（四八）

「第二」と見事な書体の額が、ある万福寺の経閣。その前に通る老僧達は、必ずとてつよい程手を合せて往來する。買ひ物袋を手へ、また雨の日は傘の中から、何かを折る姿を見ながら、我欲に生きぜわしい私に、よ万物のやの微とい感謝の氣持を思い起させてくれる。

この山から続く旧道を、本山僧侶達が托鉢に列を成し、オー！オー！と低く長く続く声は、機械音の中に暮らす私の胸の中に、温かな人の声として響き入る。家事の手を止め、何かかのお金を包み、前を行く僧の前垂れにそっと置く。彼は深々と礼をして

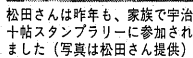


からお経を唱えて立ち去る。私は好きた。乾いた心に潤
浄財を渡す一時ひとときの交流は、いを与えてくれる黄檗の地
互いに無となり、清々しくに縁あつて暮らせる事を、
心を洗われた気持ちになり、嬉しく思っている。

ぶるさと・宇治に対する思い、印象に残るまちの風景や表情についての投稿を募集したところ、皆さんから多くのお手紙をいただきました。そこで、そのうちから何点かを、今回と3月21日号の2回に分けて紹介します。

榎島町 園場 松田 絹代^{さん} (四三)

宇治市民として二十余年。宇治との出会い、活し、子供三人を育み日々を送る身となりました。

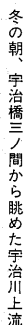


草木ひつちと埋もれる木の本をさがしたすねた事がありました。今、市の創生事業として「紫式部文学賞」「市民文化賞」が制定され、脚光を浴びる源氏物語の里「宇治」の源氏物語のイブニングに、子供連々タンブラーを築いたり、受賞式に一般参加したりと、さながら盛況にしております。千年変わる事なかに宇治の早瀬は今も人々に清の潤いを与えられてゐるのです。

六地藏徳永 藤田ユウ子^{さん}（七四）

縁豊か如夢のうつろひ
を、千年の暗を川面に映
し、宇治川は日も力強く
流れる。釣りが三毛五
釣り糸を垂れ魚景は一服
の鮎を見る如し。ピンク
色とキホンの、とても可愛
い宇治焼、三ノ間からの眺
めは四季とせわれに美しく
春は桜花が咲きたれ、夏
は川辺に涼を呼ぶ、秋は組
葉が山を染め、川面に稲の
湯気が立つ冬止。橋を行く
人は三ノ間にて足止め、そ
の自然美に暫し心満たされ
る。一服の安らぎを覚えるであ
らう。

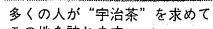
本当にすきな宇治市に
お仲間入りして、今年は十
年を迎える。今ではすっか



五ヶ庄西浦 滝沢美佐尾さん（七八）

東雲の山麓を仰ぎ乍ら生まれ育った宇治の町。宇治小学校前に、親から私、息子から孫と何代もが長閑なこの宇治の里に

く中国のお寺・万福寺あります。私の大好きなお寺です。グリーンと響吊り鐘の音に手を合わせばかります。



が、なすり都郡の地を訪れます

あ、宇治橋より眺める
塔の島に、平等院・紫式
部の伝統、その名所が
あります。空気の澄々、
水は清く、心の優しい人々
々にかこまれ、美味
しいお茶の、時、現在、
宇治では、何の災害にも
見舞われず、先祖より伝
わつて来た銘茶が、最近の
人々のお越しをお待ちし
ています。

大好きな宇治の里は松
の心の支えです。

羽戸山三丁目

宇治に移り住むうちに、冬空に屹立している落葉樹の梢に、徐に身も心もめきめて一日がはじまっていく。明星園のバス停傍のお地蔵様は優しい表情で「気を付けてね」と

